

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育原理		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

保育の理念や意義、目的、保育所保育の特性、子どもの発達、保育内容・方法、保育施設の歴史や保育思想、保育制度、現代の保育をめぐる課題や諸問題など、保育者を目指す学生にとって必要となる保育の基本的事項について学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本授業は講義を中心としつつ、ディスカッションやグループワークを導入し、保育について相互に理解を深める。受講生の主体性、意欲を強く求める。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、保育の原理とは	受講にあたっての留意点、原理・原則の定義について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第2回	保育の理念と子ども	保育をめぐる理念と子どものかかわりについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第3回	保育所の役割と保育の本質	児童福祉施設としての保育所における役割とその本質について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第4回	保育士の専門性と役割	保育専門職のひとつである保育士について、資格・意義・役割・専門性について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	保育の環境	保育の環境（物的・人的・自然・社会的・文化的）について理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	保育の「ねらい」と「内容」	保育所保育指針に基づく保育における「ねらい」と「内容」について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	子どもの発達過程と保育	乳児から幼児の発達について、年齢ごとにみられる発達の姿を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	保育の方法・進度確認試験	多様な保育方法（一斉保育・自由保育）について学ぶ。8回まで学んだことについて確認する。	<input type="checkbox"/>
第9回	日本における保育制度の現状と課題	幼稚園・保育所の相違や設置基準等、日本における保育制度の現状とその課題について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	日本における保育施策の現状と課題	子ども子育て支援新制度等、日本における保育施策の現状とその課題について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	西洋における保育思想の変遷	欧米における保育思想について、歴史や意義、思想を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	日本における保育思想の変遷	日本における保育思想について、歴史や意義、思想を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	保育の計画・評価	保育における指導計画（全体的な計画や長期的・短期的指導計画）の意義や評価について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	多様な保育ニーズ	障がい、外国籍、貧困など様々な観点から、保育ニーズについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第15回	保育と子どもの遊び・進度確認試験	多様な保育方法（一斉保育・自由保育）について学ぶ。15回まで学んだことが確認する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習は、各回でのトピックを教科書を中心に読み込むとともに、不明確な点については文献、インターネット等で確認する（2時間程度）。事後学習はノートやプリント等で振り返りをしつつ、不足分について関連文献を読み込み、資料収集を行い、成果の定着を図る（2時間程度）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

試験結果や各種課題については授業時間内に適宜、返却する。内容についても解説し、受講者全員の理解を図る。授業時間外の場合はオフィ

スアワー、もしくは教員が研究室に在席し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士になるために必須の知識を説明することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	保育に対して自ら疑問に感じ、主体的に携わることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」：2回の進度確認試験では、授業で取り上げた基本的知識が論述できるかどうかによって評価する。  
「その他」：授業で行うリフレクションシートをもとに評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	哲学な考えをいかす 新・保育原理 (教育情報出版)	978-4-909378-62-0
2	保育所保育指針解説	978-4577814482
3	必要に応じてプリント・資料	
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園教育要領解説	978-4577814475
2	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	978-4577814499
3		
4		
5		